

# ぐりふぁん letter



Vol.  
32  
2016.7

## INDEX

- ◆ 上鳥羽北部いきセンにおひさま発電所ができました！ ……2
- ◆ Cherry's Hug東向日園におひさま発電所ができました！ ……3
- 次のおひさま発電所は…世光福祉会おひさまプロジェクトが始まります！
- ◆ 電力自由化は再生可能エネルギーの普及につながるのか？ ……4  
～2016年総会記念学習会要点～
- ◆ 上鳥羽学区エコ学区チャレンジプログラム報告 ……5
- ◆ 理事長交代のご挨拶 ……6
- ◆ 2016年 総会報告 ……7  
会員さん、こんにちは！  
編集後記

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)

きょうとグリーンファンド

# 京都市上鳥羽北部いきセンに おひさま発電所ができました!



京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター(以下いきセン)の屋上に、おひさま発電所19号機が完成しました。

一昨年の夏、いきセンの高橋センター長より「いきセンの屋上に太陽光パネルを設置したいんだけど…」というご相談。その前年の大雨で、いきセンにも避難された方がいたそうです。地域の安心、安全のため、いきセンとしても何か取り組みがしたいというお考えだったのですね。設置するなら、地域で協力して、また

市民共同で「おひさま発電所」として設置したい…。しかし、いきセンの建物は京都市所有、簡単に設置は出来ません。京都市と協議を重ね、「京都市太陽光発電屋根貸し制度」を活用し設置することに…。京都市の公共施設に設置するのは、きょうとグリーンファンドとしても初の事例、様々な調整の後、ようやく今年4月に点灯式を迎えることが出来たのです。

時間のかかった分、よかったこともあります。

まずは、いきセンのスタッフの方々が、2015年4月から一年間、省エネや創エネなど環境活動に取り組んでくださったこと、(下記に取組の写真を掲載)また、おひさまプロジェクトを始めるにあたり、上鳥羽自治連合会ははじめ、地域の各団体がこぞって後援団体として応援してくださったことなどです。

いきセンの向かいにある中唐戸児童館の子どもたちとも、クリスマスの集い、雨水タンク設置ワークショップなどを通じて、環境について一緒に活動することが出来ました。



発電表示盤は、道行く人にもよく見えるよう玄関に設置されていて、まるで上鳥羽のまちのエコ活動のシンボルのようです。

いきセンのスタッフはじめ、地域の方々は「上鳥羽をエコなまちにしよう!」と今年度もエコ活動に取り組んでいます。きょうとグリーンファンドはこれからも応援していきたいと思えます。



グリーンカーテン



クリスマスのつどい



夏の夜市のエコステーション・リユース食器導入



雨水タンク設置

## 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクト 収支報告 2016年4月

収入の部	
プロジェクト寄付金	546,000
設置施設資金	5,000,000
合計	5,546,000

支出の部	
設備設置費	4,703,000
印刷製本費	223,000
諸謝金	80,000
通信運搬費	33,000
記録費	50,000
保険料	14,000
屋根貸し賃料	5,000
雑費	4,000
事務局経費	270,000
繰越金	164,000
合計	5,546,000

(単位：円、千円以下原則四捨五入)

(きょうとグリーンファンド 北川井子)

# Cherry's Hugおひさま♡いっぱいプロジェクト Cherry's Hug東向日園におひさま発電所 ができました!!!

Cherry's Hug東向日園のおひさま発電所が完成しました。

阪急京都線東向日駅の線路際にある小さな保育園の屋根に、太陽光パネルが並び発電を始めました。電車の音に負けない位元気な子どもたちの声が響きます。もとはと言えば、普通の住宅街にある一軒のおうち。そこがかわいい保育園に生まれ変わって、屋根には多くの人たちから贈られた太陽光パネルが輝いている。「環境にやさしい保育園」をめざすという大人たちの心意気が感じられて、まさに未来を託す子どもたちへの思いが詰まった場となりました。そこで大きくなった子どもたちは、どんな大人になるのか・・・、かわいい子どもたちを見るにつけ、うれしい気持ちがこみ上げてきます。

資金的にはなかなか大変ですが、思いがけなく年賀寄附金の配分をいただけて、何とか資金の目途がつきそうです。7月9日(土)、小さい子どもたちやお母さんお父さん、保育士さんも参加しての点灯式。「なぜ、おひさま発電所なのか」についてのミニ講座もしっかり聞いていただいて、最後は子どもたちが走り回る賑やかな点灯式になりました。ご寄付は8月5日まで募集中です。



次のおひさま発電所は・・・

## 世光福祉会おひさまプロジェクト が始まります！

次のおひさま発電所設置に向けて、準備が進んでいます。

設置する施設は、社会福祉法人世光福祉会「イマジン」。伏見区にある障がい者のための生活介護の拠点となる施設です。地域の交流サロンや障がいがある人にも対応した眺めの良いお風呂が用意された4階建ての施設は、現在建設中。10月末には完成予定です。

「イマジン」という名前は、英語で言えばimage(名詞)。「形」という意味があり、旧約聖書では、「神は自分のかたちに人を創造された・・・」という記述があるそうです。知的障がいがある人、生きづらさを抱えた人なども、神のかたち「image of God」にかわりなく、一人ひとりが大切にされるよう奉仕の精神を持つことを誓って、つけられた名称であることを知りました。このような地域の施設に、おひさま発電所を作るお手伝いができることを大変うれしく思います。一人でも多くの方が心を寄せていただき、このプロジェクトに参加していただけますようご協力をよろしくお願いいたします。

(きょうとグリーンファンド 大西 啓子)

# 電力自由化は再生可能エネルギーの普及につながるのか？

～2016年総会記念学習会 要点～

関西学院大学 総合政策学部 教授 朴 勝俊（きょうとグリーンファンド理事）

この春から電力小売が全面自由化となりました。いまや私たちは、環境に優しい電源を用いている小売会社を選ぶことで、再エネ普及を支援し、できる限り、原発や石炭火力にお金を支払わないようにすることができます。

電気事業を発電・送配電・小売の3部門でとらえれば、発電と小売では競争が活発化されます。自由化が進む欧米諸国でも、送配電は自然独占として、政府の規制に服する部門とされています。

電力自由化で原発はどうなるのでしょうか。原発は建設費が高く、事故リスクの費用を含めるときわめて高価な電源ですが、燃料費だけは安価ですので、電力会社は、自由化されても既存の原発は廃止せず、稼働させ続けたいと考えるでしょう。他方、原発は建設費が高いため、将来の電気代が予想しにくくなれば、新規建設は妨げられます。原発推進国のイギリスでは、再エネ普及のための差額決済制度（CfD、固定価格買取制度FITに似た制度）を、原発にも適用し、35年もの価格補償を与えるといいます。この様な制度を日本に導入させてはなりません。

さて、私たちはどうやって小売会社を選べばよいのでしょうか。2016年4月時点で小売会社は280社以上が存在しますが、関西で選べる会社は限られており、またその中で環境や再エネに配慮した会社も数えるほどです。「パワーシフトキャンペーン」や「京のアジェンダ21フォーラム」などのHPで、お勧めの小売会社の電源構成などの情報を得ることが可能です。もし、現時点で応援したい小売会社がなかったとしても、ひとまず別の会社に切り替えて、あとで気に入った会社が登場したときに、そこに切り替えるという選択肢もあります。ですから、セット割引で2年縛りのような契約は、避けた方が良いと思います。また、すでにソーラーパネルを所有している方は、その電気が関西電力にしか売れない、ということはないはずで、その切り替えも検討してみてもいいでしょうか。



電力自由化は再エネの普及に寄与するのか、と言う問題については、私は「イエスだが、細部に宿る悪魔に注意せよ」と答えます。太陽から地球に達するエネルギーは人類が消費するエネルギーの1万倍に達します。風力発電や太陽光発電の技術は、世界的にも急速に普及し、ここ数年はコスト低下も顕著です。問題はその「変動性」です。欧州では再エネを、ある意味ベースロード電源として優先的に送電網に受け入れ、需要と再エネ発電量の差を、水力やガス火力などの柔軟な電源で埋め合わせています。その際、時事刻々と電力需給を調整する機能は、主に電力取引所の価格メカニズムが担っています。

ドイツでは2011年以降、再エネの発電量が大幅に増えたことによって、いわゆるメリットオーダー効果によって電力取引所価格が下がっています。その理由を理解するには、電力取引所での「メリットオーダー方式」による価格形成について、理解を深める必要があります。また、電力自由化を再エネ普及につなげるには、私たちが制度を良く理解し、法制度の改悪を防いでゆく必要があります。そのためには諸外国の経験を学ぶことは不可欠です。

例えば、ドイツでは固定価格買取制度（FIT制度）によって、2015年にはついに、再エネ発電量が総発電量の30%に達しました。ところが、市民がつくった環境にやさしいシェーナウ電力でさえ、主にドイツ国内の再エネに投資してはおりません。実は、シェーナウ電力が調達する「エコ電力」は、主にノルウェーなどの既存水力発電所の電気なのです。これは、FIT電気の買取主体が送電会社なので、小売会社である彼らは直接FIT電気を買えないためです。また、「エコ電力」の電源表示に用いられる、欧州連合の市場原理主義的な官僚たちが導入した「発電源証明制度(GO)」は、外国の旧式水力発電業者にタナボタ利益をもたらしているだけかもしれません。日本でもFIT法は頻繁に見直されることでしょう。日本でもすでにFIT電気の買取主体は、小売会社から送電会社に移ります。電源構成の表示に関しても複雑な議論が続いており、目が離せません。



## ●上鳥羽ミニソーラー発電所をつくる

南区上鳥羽学区では、2015年度エコ学区チャレンジプログラムとして『学区で「創エネ」にチャレンジ!』に応募されました。このプログラムでは3回の体験型のワークショップを通して、移動もできる「上鳥羽ミニソーラー発電所」をつくりました。地域の行事や災害時など、いざという時にも役立つ独立型の太陽光発電システムです。会場となった上鳥羽北部いきいき市民活動センターの屋根には、10kWの「おひさま発電所」が設置されたこともあり、小さな発電所作りを通して屋根に設置された大きな発電所へと関心をつなげることができたと思います。

### 【1回目】「みんなで学ぶ!」～ミニソーラー発電所をデザインしてみよう～（2016年2月27日）

前半は、自転車発電を使った発電体験や簡単なクイズを行い、電気や発電方法、シャワーのお湯に必要なエネルギーの話など、身近な暮らしのエネルギーについて学ぶワークショップを行いました。後半は、独立型の太陽光発電に必要なパネルやバッテリー、チャージコントローラーなどの機器について、仕組みと役割について実物を使って説明しました。終了後も、家庭での洗面時の水の流しっぱなしや電気の点けっぱなしなどについて、質問や感想がいくつも出てきて、関心が高いことがわかりました。

### 【2回目】「みんなでつくる!」～ミニソーラー発電所をつくってみよう～（2016年3月5日）

工具を使ってミニソーラー発電所を実際に組み立ててもらいました。前半は、1回目の復習をし、ケーブルを使って、それらの機器をどのように接続すればよいのかを学ぶ時間をつくりました。後半は、ケーブルの加工の仕方や工具の基本的な使い方を練習してもらった後、本番用のケーブルを使って、太陽光パネル、チャージコントローラー、バッテリーなどを接続していきました。慣れない工具を使った作業にみなさん少し大変そうでしたが、おひさまの光が当たりバッテリーへの充電がはじまると、「本当に発電するんだ!」という驚きと「うまく行って良かった!」という安心した声が出ました。

### 【3回目】「みんなで実践!」～ミニソーラー発電所を使って遊んでみよう～（2016年3月19日）

中唐戸児童館の子どもたちにも参加してもらい、完成した50Wの「上鳥羽ミニソーラー発電所」を実際に動かしました。

まずは自転車発電を使って消費電力の違いをペダルの重たさで体験してもらい、発電の大きさ、W数の違いを知ってもらいました。その後で、外に出した独立型太陽光発電システムを使って、発電の仕組みを復習しながら、発電実験を行いました。子ども達は、自転車発電やパネルに張り付くように座り、とても積極的に参加してくれました。また、途中たまたま設備点検に立ち寄られた本物の消防隊員の方に自転車発電に挑戦してもらい、おおいに盛り上がりました。最後に、センターの屋根に設置されている10kWのおひさま発電所の発電の力の大きさを紹介しました。



## ●ミニソーラー発電所の今後の活用

このプログラムで製作した発電システムは、出力50Wの太陽光パネル1枚と36Ahのバッテリーを使っています。満充電であれば、15～20人分の携帯電話の充電等が可能です。

独立型のコンパクトな太陽光発電システムは、発電の様子や仕組みを実際に機器にふれて体験することができることも大きな特徴です。いきいき市民活動センター内のイベントでの活用、学区の夏祭り等への出張ミニ発電所、10kWの「おひさま発電所」と比較して理解を深めるなど、広く活用できます。子どもと一緒によい発電システムのケースに絵を描いたり、ミニ発電所のディスプレイを考えるワークショップを企画しても良いかもしれません。

また、バッテリーを搭載しており災害時に活用できることから、防災利用の観点からも関心を高めていくことで、児童館の子ども達のみならず地域住民の関わりがさらに広がることも期待しています。

最後になりましたが、2016年度よりきょうとグリーンファンドの理事に就任しました。得意とする省エネルギーの分野を活かして、ささやかながら力になることができればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

## 理事長交代のご挨拶

皆様、初めまして。この度、板倉前理事長の跡を継いで理事長に就任しました松岡と申します。

宝ヶ池の京都国際会館でCOP3が開催されてから、早19年の歳月が過ぎました。年月が流れるのは本当に早いものです。わが国では、2014年度に13億6400万トンの温室効果ガスを排出しました。これは前年(2013年)より3.1%、2005年よりも2.4%減少していますが、1990年の12億7100万トンに比べ7.3%の増加となっており、2015年の年平均気温は1981-2010年の平均基準より0.69℃高くなっており、平均気温も上昇傾向にあります。この数年、猛烈な暑さに見舞われる年が多く、こういった異常気象も温暖化に原因があるのではないかとされています。この20年弱の間に、温暖化防止については国際レベル、国レベル、地方自治体レベルで様々な策が講じられてきました。しかし、個々人が地球温暖化に心して生活していくことが、大事ではないでしょうか。きょうとグリーンファンドが発足したのは、COP3の2年後ということで、地球温暖化防止の歴史とほぼ歩みを一にしてきたと言ってもいいでしょう。そして個人レベルでの温暖化防止運動で、大変重要な役割を果たしてこられてきたと思います。私は以前、京(みやこ)グリーン電力証書という仕組みの中で、きょうとグリーンファンドの皆様と接する機会を多く持ち、熱心な活動に目を見張りました。このような伝統あるきょうとグリーンファンドの理事長という大役を担うことができるか、心許ないところですが、経験豊富な会員の皆様とともに、この伝統ある運動を今後も継続していくお手伝いをさせていただくことに、精一杯取り組みたいと思っております。

最後に永年にわたり理事長を務められた板倉先生に御礼を申し上げますと共に、今後ともご指導をお願いいたします。

( 松岡 憲司 )

この度、2004年から務めてまいりました理事長を退任することになりました。思えば、大学の廊下を歩いているときに、事務局の面々につかまり(失礼!)軽々しくも理事長をお引き受けしてしまったのですが、きょうとグリーンファンドの活動は、まことに具体的で、幾度となく出席した点灯式では、おひさま発電所を設置した施設の方々の顔がパネルに劣らず輝いていて、手ごたえを感じたものでした。

2000年に設立して以来、きょうとグリーンファンドのおひさま発電所づくりは、様々な制度や人々の関心の度合いに流されることなく、自然エネルギーの普及と環境学習を切り離すことなく進めてきました。希求する方向を見失わず、新しい社会をめざして、事務局はじめ理事の方々の不断の努力で、後退することなく進んできたと思います。もっと言えば、市民共同発電所づくりでは、「老舗」と評されることもあるほどになりました。市民らしく微力ではあっても、決して無力ではなかったと思います。

残念ながら体調が悪く、事務局の皆さん、理事の皆さん、会員のみなさまにご迷惑をおかけしました。理事長退任後にはできる範囲で、特に自然観察会等野外でできる分野で一理事としてがんばってまいりますのでよろしく御願います。

新理事長にはよろしく御願います。

( 板倉 豊 )

### 【事務局から】 理事長さんが替わりますが…

「廊下歩いてたら、事務局につかまった…」と、ふたこと目には出てくる板倉理事長でしたが、保育園の子どもたちに囲まれて自然の中にいる理事長のうれしそうな顔は、まだまだ見られそうです。設置に関心のある園をご紹介いただいて、進んだプロジェクトが何件もありました。いつも、きょうとグリーンファンドのことを、心に止めていただいていたのです。法人がちよっと大変なことになってしまったときには(そんなことがあったのです)、やはり前面に出ていただいたことは忘れません。

新しい理事長さんは、とても快くその任を引き受けてくださいました。事務局では、また、楽しく進んでいけるよね、と話しています。今回は、「廊下を歩いていてつかまえた」ではありません。

# 2016年 総会 報告

5月17日、2016年総会が終わりました。

役員改選の年ということで、お仕事の都合で退任される理事がお二人、新しく加わっていただいた理事がお二人という理事会体制が承認されました。また、2004年から2代目の理事長として長らく務めていただいた板倉さんが交代することになりました。（正式には、7月に入ってから理事会で、理事の皆さんの互選で新理事長が決まりました。）

保育園や幼稚園の自然観察会では、「トトロ先生」として絶大な人気を誇っている板倉さんには、理事としてこれからも自然観察会ではご活躍いただけるようですので、子どもたちをがっかりさせることはないと思います。新理事長も張り切っておられますので、新しい空気が生まれるのではないかと期待しています。

今年は、2つのおひさまプロジェクトが動いている中での総会開催、ということで、事務局では今までになく忙しい毎日の中で、総会の準備をすすめました。いろいろ行き届かない点があったのではないかと、とちょっと反省。でもプロジェクトが進むのはうれしいものです。

(きょうとグリーンファンド事務局 大西 啓子)

## 会員さん、こんにちは!

### ◆きょうとグリーンファンドに入会して

・ ・ 株式会社Minoli高本長門さん

先日の、2016年総会 記念学習会 関西学院大学総合政策学部 朴先生による「電力自由化は再生可能エネルギー普及につながる？」勉強会と懇親会に一般参加をさせて頂き、後日、会員としてご縁を頂きました。こころやさしくし受け入れてくださった、理事の大西さんや朴先生、スタッフのみなさま、諸先輩のみなさまに心から感謝しています。私は、2004年から住宅用太陽光発電の販売会社で仕事をさせて頂き、2015年6月5日（環境の日）に家庭の省エネ×住宅の維持管理についてのアドバイザーとして起業し、現在、家庭版ESCOと今期から自然派の新電力仲介（高圧／特別高圧）事業に携わっています。今から20年前、バブル経済が終焉した頃に社会人となり、40にして惑わずという年頃になりました。今から2030年までの14年の間、家庭部門CO2排出 2013年度比 39.3% 削減、新電力以降エネルギー高騰、気候変動、現在820万世帯の空き家が2000万世帯を超えると予測される対処。その次は、2050年 温室効果ガス 80%削減、福島原発の廃炉計画完了、その時、日本は世界最高齢化社会を迎えるといわれています（その時、私は74歳です）。戦前戦後の恩送りを後世に繋げる私たち現代の大人の仕事。未来の子どもたちに低炭素社会を遺すために、きょうとグリーンファンドのみなさまと明るく笑って楽しみながら闘っていきたいと思います。ご指導よろしくお願ひいたします。

### 編集後記

- ・リニア新幹線、整備新幹線の計画は前倒し…、完成した頃には、乗る人があまりたくさんいないかも知れない、と皮肉りたくなくなってしまいます。まだまだ方向性は変わらないのでしょうか。地球は1つしかないのに、と思います。(K.O)
- ・今年は、梅雨らしい梅雨でほっとしたり、やはりうっとしく感じたり…、人はわがままなものです。自然に身を任せて過ごしていきます。(Y.F)
- ・グリファン事務局のお手伝いをさせて頂いて1年が経ちました。この頃やっと、みんなで「おひさま発電所」をつくる意味がわかり始めました。本当にたくさんの方々が、関わるんですね。(T.Y)
- ・18歳以上の選挙権を得た若者が参議院選挙の投票に行くか期待していたのですが、やはり思ったより少なかった。地球温暖化防止活動や投票行動も私たち大人が行動を示さねばいけませんね。(T.Y)
- ・参院選の結果がでました。後世、あれが戦争へのターニングポイントだったと言われぬように、よりよい未来が築けるよう考えていきたいものです。(S.K)

## 《 ぐりふあん日誌 》

- |                                     |      |   |
|-------------------------------------|------|---|
| 2016年                               | 5/19 | 上鳥羽北部いきおひさまプロジェクト打合わせ<br>再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業<br>補助金公募説明会参加 |
| 2/2 事務所賃貸借契約(京都外信株式会社と契約)           | 5/25 | 自然観察会:おおやけこども園(京都御苑)  |
| 2/7 電気の未来、エネルギーの未来PART3(奈良) 参加      | 5/30 | 再生可能エネルギーWG会議出席   |
| 2/10 NPO京都コミュニティ放送収録                | 5/31 | 京都府環境審議会出席  |
| 2/11 第108回理事会、15周年拡大理事会             | 6/1  | 京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議出席  |
| 2/25 伊おひさま発電所火災保険、賠償責任保険更新          | 6/2  | ヒアリング(市民エネルギーたかしま/福井さん、荒野さん)                                  |
| 2/26 再生可能エネルギーWG会議出席                | 6/7  | 電気を市民の手で選ぼう京都キャンペーン推進プロジェクト<br>会議出席<br>GPN幹事会出席               |
| 3/1 世光福祉会おひさまプロジェクト打合せ              | 6/9  | ゲストスピーカーとして活動紹介:立命館大学   |
| 3/2 上鳥羽北部いきおひさまプロジェクト打合わせ           | 6/11 | 上鳥羽北部いきおひさまプロジェクトグリーンカーテン講習会)参加                               |
| 3/3 エア京都プロジェクト収録                    | 6/16 | 環境腹話術:おおやけこども園<br>上鳥羽北部いきおひさまプロジェクト打合わせ                       |
| 3/8 京都市太陽光発電屋根貸し制度協定書を交換            | 6/18 | 世光福祉会ベテランの家後援会総会で活動紹介   |
| 3/30 上鳥羽北部いきおひさま雨水排水設置ワークショップ 参加    | 6/22 | 環境腹話術:妙林苑<br>(株)Minoli高本さん来室                                  |
| 4/3 チラシの制作/京都で配布                    | 6/25 | 特定非営利活動法人京都地球温暖化防止府民<br>会議総会出席                                |
| 4/4 再生可能エネルギーWG会議出席                 | 6/27 | 京都府環境審議会出席  |
| 4/5 上鳥羽北部いきおひさまプロジェクト点灯式            | 6/28 | 烏丸二条連続講座(コンシューマーズ 京都)参加<br>ヒアリング(東北公益文化大学皆川さん)                |
| 4/6 上鳥羽北部いきおひさま発電所火災保険、<br>賠償責任保険契約 | 6/29 | Cherry's Hugおひさままつりプロジェクト打合せ                                  |
| 4/7 第109回理事会                        | 7/5  | 第111回理事会  |
| 4/9 電力自由化シナジー(トビ)京都)参加              | 7/6  | 見学会打合せ(阪急阪神ホールディングス株式会社)                                      |
| 4/22 Cherry's Hug東向日園にて打ち合わせ        | 7/9  | Cherry's Hugおひさま発電所点灯式  |
| 4/24 すいた市民環境会議学習会講師                 |      |   |
| 4/28 上鳥羽北部いきおひさまプロジェクト打合わせ          |      |   |
| 5/12 世光福祉会おひさまプロジェクト打ち合わせ           |      |   |
| 5/13 Cherry's Hug東向日園現地調査           |      |   |
| 5/16 監査                             |      |   |
| 5/17 第110回理事会・総会・学習会・懇親会            |      |   |
| 5/18 環境腹話術:陵ヶ岡保育園                   |      |   |

### □ 寄付のお願い

きょうとグリーンファンドの活動はみなさまのご寄付によって  
ささえられています。

おひさま基金へのご寄付は ゆうちよ振替をご利用下さい。

ゆうちょ銀行振替口座番号:00930-6-157817  
加入者名:きょうとグリーンファンド

★2015年4月1日付で京都市から認定NPO法人として再認定されました。  
認定NPO法人への寄付は、税法上の特別措置の対象になります。

会員数 69

正会員 43 賛助会員 21

法人会員 5 2016/7現在



認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)

きょうとグリーンファンド

〒600 8191 京都市下京区五条高倉角塚町21 事務機のウエダビル206  
TEL/FAX ; 075 352 9150 E mail ; info@kyoto gf.org  
URL ; http://www.kyoto gf.org (火～金 13:00～17:00)

